令和4年度

事　業　計　画

社会福祉法人順仁会

目　　　　　　次

Ⅰ　＜法　人＞

１、はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２、事業目標の柱　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

３、令和４年度定例役員会開催予定　・・・・・・・・・・・・・・・・　　１

４、職員研修、職員会議　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１.２

５、防災訓練計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

Ⅱ　＜特別養護老人ホーム　ふじやまの里＞

　１、事業方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

　２、各部門方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２.３.４

　３、年間行事計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

　４、委員会活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

　５、内部研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４.５

Ⅲ　＜ショートステイ　ふじやまの里＞

　１、事業方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

　２、年間行事計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

Ⅳ　＜デイサービスセンター　ふじやまの里＞

　１、事業方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

　２、年間行事計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

Ⅴ　＜居宅介護支援事業所　ふじやまの里＞

　１、事業方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

Ⅵ　＜在宅介護支援センター＞

　１、事業方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

Ⅶ　＜事業所内保育施設　ふじやま園＞

　１、事業方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

Ⅷ　＜地域密着型施設　特別養護老人ホームふじやま荘＞

1. 事業方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

Ⅸ　＜認知症対応デイサービスセンター　ふじやま荘＞

1. 事業方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
2. 年間行事計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

Ⅰ　＜法　人＞

１、はじめに

　　　振り返ってみると、平成22年に介護事業に着手し、翌年3月に東日本大震災で予想もしなかった計画停電に合わせた介護の提供を行い、入居者への安心安全な生活の提供に努めました。昨年からは未だに収束が見えない新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、人と人との繋がりや入居者の心のケアを念頭に、オンライン面接や必要最小限の面会などの対応を行ってきました。令和4年度は、社会福祉法人順仁会として、利用者と家族や地域の方々からの信頼が得られるサービスの提供を心掛けると同時に、災害や感染症対策を強化し随時見直しを行ってまいります。

２、事業展開の柱

　　　（福）順仁会では様々な事業所や部門において、個々の事業を行なっていますが、令和４年度の事業展開の柱を以下のように定めます。

　　１）人事制度改革

　　　①フォローアップ研修ネット配信を活用し、全職員が学べる環境の整備を行い、業務改善を図ります。

　　　②ベトナム技能実習生の育成と、二期生となる実習生の受け入れ調整を行います。

　　　③処遇改善や福利厚生の充実を目指し、労働環境の整備を行います。

　　２）情報の共有

　　　ふじやまの里と荘の利用者や家族の思いを介護サービスに反映できるよう多職種との連携を強化し、各々の事業所の実績に連動できるよう情報共有を行い、質の高いサービスの提供に努めます。

３）地域社会との連携

　町内外の介護保険サービス事業所、その他の保険医療、福祉サービス事業者等との連携を図り、地域活動として町内の福祉まつりや敬老会、文化祭などに参加して、地域の方々との交流を継続します。

３、令和４年度定例役員会開催予定

　　第１回　令和４年　５月中旬頃（評議員会及び理事会）

　　第２回　令和４年１１月中旬頃（評議員会及び理事会）

　　第３回　令和５年　３月下旬頃（評議員会及び理事会）

　臨時役員会が必要な場合は、別途開催致します。

４、職員研修・職員会議

　　法人運営について里・荘・園の責任者による合同職員会議を毎月開催し、前月実績報告や各事業所の活動報告・意見交換を行い、サービスの連携を図っていきます。　　管理者職員、中堅職員、新人職員などの自己啓発研修を行い、技能向上と働きがいのあるサービス職場の実現に向けた意見交換を継続します。

　　５、防災訓練計画

　　地震や近年の想像を超えるような自然災害の発生に伴うBCP（事業継続計画）に基づいた毎月の防災訓練を継続します。緊急時には、地域住民の協力が得られるように良好な関係づくりを目指して、地域住民・近隣の方々への参加を呼びかけながら訓練を行います。

　４月 ３階避難・誘導訓練（夜間想定訓練含む）

　５月 総合訓練

　６月 普通救命訓練

　７月 ２階避難・誘導訓練（夜間想定訓練含む）

　８月 消火器訓練

　９月 応急処置（ＡＥＤ）

１０月 地震・煙道訓練

１１月 総合訓練（風水害訓練）

１２月 消火器訓練

１月 避難・誘導訓練（すずらん・ひまわり　夜間想定訓練含む）

２月 避難・誘導訓練（なのはな・たんぽぽ　夜間想定訓練含む）

３月 救助袋訓練

Ⅱ　＜特別養護老人ホーム　ふじやまの里＞

１、事業方針

昨年度の介護保険制度の改定より、科学的介護推進体制（LIFE）という新たな制度が提唱されました。これは、介護の分野でも医療と同様に、科学的根拠に基づいた支援の実施を目指すものです。まだ始まったばかりで具体的に運用方針は確立されていませんが、これから必ず求められてくる制度であり、当施設としても根拠に基づいた介護・支援を行うことで、更に安心した生活を送っていただける施設になることが期待されます。

２、各部門方針

　　１）事務部

　　　①来客及び電話等での応対時の接遇を適切に行います。

②報告・連絡・相談を的確に行うことにより正確な業務遂行に努めます。

③時代の流れに沿ったAI技術の導入を図りながら職場環境改善に努めます。

　　　④施設の設備等の不具合是正に迅速に対応し安定したサービス提供に努めます。

　　　⑤資産管理・経理処理等を適切に行い、精度の高い事業運営を継続します。

２）介護・生活

①多様化する利用者方の生活様式に対応しやすいユニットケアの特性を活かし、それぞれの入居者の望む生活が送れるよう、生活上の課題の把握と解決を図り、より充実した暮らしを営んでいただけるよう支援します。

②今年度も４つの基本ケア（食事、水分、排泄、運動）の充実を進めていくとともに、口腔内の環境（清潔の保持や入れ歯の使用など）を整えることにも注力し、病気の予防や認知症の改善へと繋げていけることを目指します。

③昨年同様外部からの支援はいまだ難しい状況であるため、オンラインによる研修制度の充実を図り、職員の知識・技能の向上に努めてまいります。また、音楽療法やもの作り作業レクリエーション、季節に合わせた行事イベントなど、生活に刺激や楽しみが持てるように支援します。

　　３）看護部

①日々の入居者の健康管理を通し、異常の早期発見・早期対応を行い、入院加療が減らせるように努めます。入居者一人ひとりの疾患を把握することはもちろん、生活歴や人生史を知り、入居者に寄り添い、医療優先に陥らない看護が提供出来るように努めます。

②終の住処としての特別養護老人ホームの役割は「看取り介護」に集約されます。

　入居者の人生史を把握し家族と連携しながらそれぞれの個性に応じた「最期まで生き抜く」ケアを他職種がチームとなり提供します。また、家族と共にゆっくり過ごせる環境を整え、信頼関係の構築に努めます。

　　４）相談・援助体制

　　　①稼働率９８％維持を目標に、新規入所契約をスムーズに行えるよう、他の機関との連携や情報提供を行います。

　　　②入居者が安心して生活できるよう家族等との連携を図るために、多職種から日々の状態の把握を行い、病状や生活に影響が起きた場合には、電話等により状態を連絡し情報共有を適切に行います。

　　　③里・荘合同の入居判定委員会を随時行います。

５）栄養部

①安全で安心な食事を提供するため、厨房従業員が各自健康管理に努め取り組んでいきます。また、食中毒防止のため衛生管理を徹底します。

②年齢・性別・身体状況から算出された食事摂取基準を満たす献立を作成し、入居者の低栄養の改善や生活習慣病の予防に努めます。また、食品ロスを無くすため食材の管理や見直し、調理方法の工夫に取り組みます。

③行事食の立案・企画及び嗜好調査、聞き取りなどにより、入居者の希望に合うように工夫し、食事を楽しむことができるようにします。

　６）個別機能訓練

　　①　個別性を重視し、出来ること、残存機能を活かせるプログラムを立案・作成し多職種と連携を取りながら訓練に取り組み、日常生活が安全・安心に過ごせるよう支援します。

　　②　定期的に身体を動かす機会を作ることにより、怪我等の防止を含めた生活の質の向上を図り、充実した日常生活を過ごせるよう支援します。

３、年間行事計画

　　　コロナ禍の現状を踏まえ、感染予防に配慮したレクリエーションをユニット単位で提供していきます。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| お花見（弁当） | 鯉のぼり母の日（イベント食） | 父の日（イベント食） | 七夕飾り流しソーメン | 夏祭り | 敬老会（祝い膳） |
| １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
| サンマ焼き | そば打ち | クリスマス餅つき | おせちふじやま神社 | 節分ひな飾り | お茶会 |

４、委員会活動

１）虐待・身体拘束廃止委員会、事故防止委員会

２）苦情処理委員会　（随時）

３）給食委員会

４）感染症対策・褥瘡対策委員会

５）防災・安全衛生委員会

６）ユニットリーダー・介護力向上委員会

５、内部研修

　　１）採用時研修（施設理念・職員としてのマナーなど）

　　２）事故防止対策（採用時必須）

　　３）感染症・食中毒（採用時必須）

　　４）防災基礎訓練・防災総合訓練

　　５）褥瘡対策

　　６）身体拘束・虐待防止（採用時必須）

　　７）看取り介護関係

　　８）栄養マネジメント関係

　　９）認知症対策・ケア・予防

　　１０）介護技術（排泄・入浴・移動・食事介助）

　　１１）口腔ケア関係

　　１２）ユニットケア研修（２４時間シートなど）

　　１３）介護力向上勉強会

　　１４）ハラスメント研修

　　１５）リーダーシップ研修

　　１６）接遇研修

　　１７）介護技術オンライン動画による研修

Ⅲ　＜ショートステイ　ふじやまの里＞

１、事業方針

①毎月のベッド稼働率９０％以上を目標とする。

②利用者の生活環境を考慮し、在宅と継続した生活を送って頂けるような関りを提供します。また、利用者同士と職員との交流を図り、体操やレクリエーションを通して心身の安定が図れるよう努めていきます。

③職員の資質向上に努め、思いやりと家庭的な雰囲気作りを目指し「また、ふじやまの里ショートステイを利用したい。」と思って頂ける事業所を築いていきます。

④新規契約時に、事故発生リスクや事故発生時の対応など丁寧に説明し同意を得た上で適切な利用契約を行い、現場での介護事故発生の予防に努めます。

２、年間行事予定

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| お花見 | 母の日イベント食 | 父の日イベント食 | 七夕 | 夏祭り | 敬老の日イベント食 |
| １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
| サンマ焼きハロウィン | 運動会 | クリスマス会、餅つき | 初詣 | 豆まき | 雛祭りイベント食 |

☆特養行事に合わせて参加していきます。また、利用者様の希望や季節に応じたイベントを随時行っていきます。

Ⅳ　＜デイサービスセンター　ふじやまの里＞

事業方針

①一日利用者人数２０人を目指し、各居宅支援事業所への受入れ可能状況を把握してもらえるよう業務提携をしていきます。

②利用者の希望や状態に合わせた計画書を作成していき、ＡＤＬの維持・改善の為の個別機能訓練を行い、認知症利用者に対しては、その人らしさを尊重した援助を行います。

③季節行事や習慣的な体操や気分転換できるレクリエーションを積極的に導入して楽しみを提供できるようにしていきます。

④送迎業務に関して、安全運転を念頭に置いた走行及び車両の定期的な点検、整備を行い利用者の安全確保に注意を払います。

⑤地域の各事業所との連携も図り、利用希望の相談や見学等の受付にも柔軟に対応していきます。

　　＊　年間行事計画　（ ※コロナ終息状況を確認して実施検討。 ）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| お花見(開花状況にて) | 外出：バラ園手作りおやつ | 外出：あじさい写真ｽﾗｲﾄﾞｼｮｰ | 七夕飾り流しそうめん（ｽｲｶ割） | 外出：ひまわり畑手作りおやつ | 敬老会ﾃﾞｲにてお祝い(町敬老会見学) |
| １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
| 外出：コスモス畑運動会 | 福祉まつり手作りおやつ | クリスマス会(ケーキ作り)もちつき | 初詣(しらさぎ神社)書初め球根植え | 節分ひな飾り見学 | お茶会お花見(開花状況にて) |

※誕生会は毎月開催。１～２回　誕生者の人数により開催日調整。

Ⅴ　＜居宅介護支援事業所　ふじやまの里＞

1. 事業方針
	1. 要支援・要介護となった利用者が、可能な限り自宅で安心して過ごせるよう配慮した支援をしていく。
	2. 収益を安定させる為、同法人（デイサービス、ショートステイ、特養）と協力

し連携を密にとっていく。

* 1. 事業所の職員間の情報交換・課題の共有・相談がスムーズに行うことができるよう定例会議や内部研修等を行い活性化に繋げる。
	2. 特定事業所加算算定事業所として、他居宅介護支援事業所との共同事例検討会・勉強会を通じて介護支援専門員の質の向上を目指していく。

Ⅵ　＜在宅介護支援センター＞

１、事業方針

概ね６５歳以上の独居や両老世帯の方が、地域で安心して生活が出来るよう支援致します。

① 独居や両老世帯、要援護者宅を定期的に訪問等を行い、本人又は家族からの相談に対応し、行政や包括支援センターと連携し、適切な助言や情報を提供します。

② 認知症地域支援推進員として、認知症初期集中支援チームと共に、町内の認知症の方のサポートをします。

③ 生活支援コーディネーターとして、より良い業務が遂行できるよう、積極的に研修に参加し、日々技能向上に努めます。

④　地域のミニサロンの活動に関わりを持ち、必要な情報を提供致します。

⑤　その他の在宅支援センターと連携して、日々の情報共有を密に行います。

Ⅶ　＜事業所内保育施設　ふじやま園＞

1. 事業方針

認可保育事業を１年経過し、認可基準を満たしての保育の提供を職員一同再確認しつつ、小規模保育事業のふじやま園独自の、子ども達一人ひとりの気持ちに寄り添い、家庭的な雰囲気を基本とした保育の提供を目指します。

　また、季節の行事や自然とのふれあいを大切にした保育や食育や挨拶などが身に

つけられる保育を行っていき、高齢者とのふれあいを大切に継続します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 保育内容 | 月 | 保育内容 |
| ４月 | 内科・歯科検診こいのぼり | １０月 | 内科健診・歯科検診・さつま芋掘り・ハロウィン |
| ５月 | 総合訓練 | １１月 | 総合訓練 |
| ６月 | ありがとうの日 | １２月 | クリスマス会・お餅つき |
| ７月 | 七夕祭り・じゃがいも堀り流しそうめん | １月 | 凧遊び |
| ８月 | 夏祭り | ２月 | 豆まき |
| ９月 | 敬老会 | ３月 | ひな祭り・お別れ会 |
| 毎月 | 誕生会・身体測定・避難訓練 |

Ⅷ　＜地域密着型特別養護老人ホーム　ふじやま荘＞

１、事業方針

　地域密着型として個々の生活習慣や地元の風習、顔なじみの関係を大切にし、特養に入居したことでそれらが途切れることなく、暮らしの継続ができるよう支援してまいります。また、ふじやまの里と同様に、科学的介護推進体制（ＬＩＦＥ）の制度に着手していきます。

1. 入居者の話に耳を傾けて習慣や風習などの情報を集め、生活に少しでも反映するようにしていきます。
2. 地域交流スペースや談話スペースに入居者や家族が集う環境を整備し、入居者がユニット外に出るなどして季節感や地元住民同士の交流を深めるきっかけづくりをおこなっていきます。

Ⅸ　＜認知症対応型デイサービスセンター　ふじやま荘＞

1. 事業計画

 少人数対応の静かな雰囲気のもと、利用者一人ひとりの思いに寄り添い各々の認知症状の状態に合わせた対応を実践します。令和４年度は1日7名以上の利用を目標とします。

* 1. 作業レクや生活リハビリを通して、利用者一人ひとりに合わせたメニューや意欲に合わせた進め方で、本人の興味とやる気を引き出し同時に達成感を感じて頂くことで、心身や脳の活性化に努めます。
	2. 在宅で介護されている家族の思いや悩みを把握し、家族の精神的疲労を少しでも軽減して頂けるよう連携を図ります。

２、年間行事計画

（※コロナ禍の状況を踏まえ、終息状況を確認しながら実施の検討を行います）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| お花見（開花状況にて） | バラ園見学（井頭公園） | あじさい見学 | 七夕飾り | ひまわり畑見学（益子町） | 敬老会（町の敬老会見学） |
| １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
| コスモス畑見学（益子町）サンマ焼き | 福祉まつり見学 | クリスマス会餅つき | 初詣（しらさぎ神社）書初め | 豆まきひな飾り見学（真岡市） | お茶会お花見（開花状況にて） |

※月に一度、季節に合わせたおやつ作りと、随時誕生会を行います。